

平成20年1月 教育研究評議会議事録

・日 時：平成20年1月17日(木) 14時00分～16時25分

・場 所：事務局第一会議室

・出席者：古在学長，福島，宮崎，天野，安田，齋藤各理事
三浦，田村，新藤，廣井，徳久，堀江，森，野口，菊池，三宅(明)，小林，
山本，遠藤，三上，伊勢崎，北村，山内，嶋津，三宅(洋)，西村，尾形，
中澤，野村，辻，中谷，石川，正木，小倉，木庭，落合，三橋各評議員
(37名)

陪 席：長尾機構長，伊藤副機構長，木南監事
(欠席者：河野，西尾，西野，上野)

・前回教育研究評議会議事録について
原案どおり承認された。

・審議事項

1. 教員の再審査に関する規程案について

学長から，教員の再審査に関する規程案について審議願いたい旨提案があった後，安田理事から，資料1に基づき説明があり，審議の結果，学長から，本会議での意見及び各部局での検討結果を踏まえ，2月又は3月の教育研究評議会に再提案するとの説明があった。

2. 教員の任期制の導入について

学長から，教員の任期制の導入について審議願いたい旨提案があった後，安田理事から，資料2に基づき説明があり，続いて，堀江評議員及び森評議員から補足説明があり，審議の結果，了承された。

なお，看護学部及び大学院看護学研究科の教授に係る再任に関する事項については，再確認することとなった。

3. 大学院早期修了制度の運用による複数学位取得に関する指針(案)について

学長から，大学院早期修了制度の運用による複数学位取得に関する指針(案)について審議願いたい旨提案があった後，宮崎理事から資料3に基づき説明があり，審議の結果，了承された。

・報告事項

1. 平成20年度非常勤講師任用計画の目標時間数に対する部局からの要望について

安田理事から，平成20年度非常勤講師任用計画の目標時間数に対する部局からの要望について，資料4に基づき説明があった。

2. 交流協定の締結について

天野理事から，大学間交流協定(2件)及び部局間交流協定(4件)の締結について，資料5に基づき報告があった。

また，各部局において「中国5000人計画」による留学生の受け入れについて

照会があった場合には、国際課に連絡するよう依頼があった。

3. 日本学術振興会国際関係諸事業年度別実績・計画表について
学術国際部長から、日本学術振興会国際関係諸事業年度別実績・計画表について資料6に基づき説明があった。
また、天野理事から、比較的採択されやすい事業もあるので、積極的に応募願いたいとの説明があった。
4. 両立支援企画室主催によるコーチングセミナーの開催について
森評議員から、標記セミナーの開催について資料7に基づき案内があった。
5. なのはなコンペ2008の審査結果の報告について
齋藤ベンチャービジネスラボラトリー施設長から、なのはなコンペ2008の審査結果（一部内定）について資料8に基づき説明があった。
6. 平成20年度シーズ発掘試験公募の概要について
伊藤産学連携・知的財産副機構長から、JSTによる「平成20年度シーズ発掘試験募集説明会」について資料9に基づき案内があった。
7. 第4回千葉商工会議所と千葉大学留学生との交流会について
山内評議員から、「第4回千葉商工会議所と千葉大学留学生との交流会」について資料10に基づき案内があった。
8. その他
 - (1) Asia - Pacific Quality Network (APQN) オープンシンポジウムについて
天野理事から、本シンポジウムについて資料に基づき案内があり、終了後の2月22日（金）に出席者による本学の視察が予定されており、関係者には協力願いたいとの依頼があった。
 - (2) 博士（後期）課程学生への経済的支援に関する検討状況について
福島理事及び齋藤理事から、博士（後期）課程学生への経済的支援に関する検討状況について資料11に基づき説明があり、来年度の予算編成を踏まえ財源を確保するが、実施方法等については各部局においても検討願いたいとの依頼があった。
 - (3) 「千葉大学の教育・研究」に対する意識・満足度調査報告書について
北村評議員から、標記報告書が配付され、関係協力者に対する謝辞と報告書については各学部における今後の教育・研究活動の参考にしてほしいとの説明があった。
 - (4) 環境マネジメントシステム（ISO14001）の登録更新について
齋藤理事から、本学のすべてのキャンパスについてISO14001の認証更新（有効期限：平成23年1月10日）の登録がされたとの報告があった。
 - (5) 「街づくりに生きるフィールド科学」成果発表会について
天野理事から、環境健康フィールド科学センター主催による標記成果発表会について資料に基づき案内があった。

- (6) 「 International Symposium on Biomimetics, Micro Air Vehicles, Unmanned Aerial Vehicles and Unmanned Vehicles 」 の開催について
学長から、標記国際シンポジウムの開催について資料に基づき案内があった。
- (7) 日経 BP ムック 「 変革する大学 」 シリーズ (工学部 , 園芸学部) の発行について
小倉評議員及び菊池評議員から、標記刊行物が配布され、発行に当たっての謝辞があった。

以 上